

ま え が き

本書は、広島大学経済学部附属地域経済研究センターと地域経済研究推進協議会の主催で、平成8年10月31日と11月1日の両日、広島市中区の八丁堀シャングレにおいて「地域の歴史・文化と観光」をテーマに開催しました第9回研究集会の報告書です。

この研究集会は、地域経済研究センターが平成元年に創設されて以来、毎年開催してまいりました。第9回を迎えた今回の研究集会は、例年どおり2日間にわたって開催され、初日は基調講演とパネル討論会、2日目は、中国四国地域を代表する5つのシンクタンクの研究員の方々に、地域経済に関する研究報告をしていただきました。

初日の基調講演は、国立民族学博物館教授の端先生に「文化経済の時代とこれからの地域づくり」というテーマでご講演いただき、昨今の経済の動きを「文化経済」という新しい概念を用いてたいへんわかりやすく解説していただきました。それを受けてパネル討論会では、「地域の歴史・文化と観光」について、中国四国地域の地域づくりを今後どのように進めていけばいいのか、とくに観光という観点からの地域づくりのあり方について、4名のパネリストの先生方、また、基調講演をいただいた端先生にも加わっていただき活発な議論が展開されました。

2日目の研究報告は、当地域で活躍するシンクタンクの研究員の方々から、地域経済に関するご報告をいただき、それぞれの予定討論者と討論をしていただきました。さらには、フロアを含めた活発な研究交流へと発展しました。地域シンクタンクと大学の研究者による地域経済研究のネットワークが形成されつつあることは、「地域の問題は地域で考える」という当センターの設立理念を実現するためにも、たいへん喜ばしいことだと思っています。

地域の皆様方のご協力により、研究集会には多数のご参加を賜り、極めて有意義な成果をあげることができました。

最後になりましたが、本書を作成するにあたり、基調講演をお願いした端教授、そして、パネル討論にご登場いただいた先生方、研究報告会における座長、報告者、討論者の方々、その他関係各位のご協力に深く御礼申し上げます。

平成9年3月

広島大学経済学部教授
地域経済研究センター長 松 水 征 夫